

事業報告 第 10 回土木ふれあいフェスタ in 福岡



強いトンネルの実験



液状化実験



水の一生の旅



強い橋の実験



パネルの広場



歩いて測量体験

公益社団法人土木学会は、1914年に設立され、以降、「土木工学の進歩および土木事業の発達ならびに土木技術者の資質向上を図り、もって学術文化の進展と社会の発展に寄与する」ことを目的に様々な委員会活動や研究、取り組みを行ってきました。

当小委員会は、土木事業や土木技術のステークホルダーである市民にも「土木」への理解を深めていただくとともに、新たな土木技術の継承者となる子供たちを育てるべく、2008年の発足以降、全国各地で「土木ふれあいフェスタ」を開催してきました。

～ これまでの開催地 ～

2009.4 秋田県秋田市 / 2009.12 広島県広島市 / 2010.10 北海道札幌市 /
2011.10 愛媛県松前町 / 2012.10 愛知県名古屋 / 2013.10 千葉県柏市 /
2014.10 兵庫県神戸市 / 2015.10 岡山県倉敷市 / 2016.10 秋田県大仙市

実施概要 (平成 29 年度)

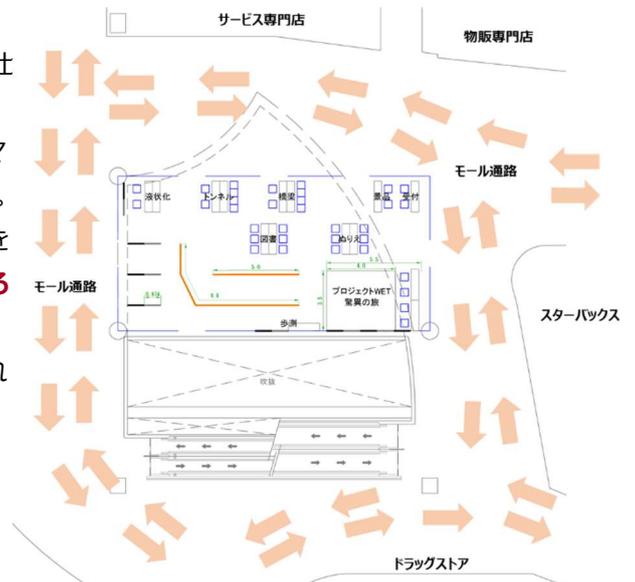
- イベント名 : 第 10 回 土木ふれあいフェスタ in 福岡
- 開催日時 : 平成 29 年 10 月 22 日 (日) 10:00 ~ 16:00
- 開催場所 : 福岡県福津市「イオンモール福津 (ノースコート)」
- 主催 : 公益社団法人土木学会 コンサルタント委員会 市民交流研究小委員会
- 協力 : 公益社団法人土木学会 トンネル工学委員会 他
- 後援 : 福津市
- 来場者計 : 426 人 (アンケート回答者数)

実施内容

「くらしと安全を支える土木」をテーマに、スタッフがサポートをしながら、参加者には極力自らが見て、触れて、聞いて、考えながら土木に触れていただく場を提供します。

模型や装置、自らの身体を使いながらインフラ構造や液状化現象、測量手法等を学ぶ『体験コーナー』。

先人たちがその地域に残した土木遺産や、地域ごとに異なる災害への危険性を整理した防災マップを紹介する『パネルの広場』。小さいお子様でもぬりえや絵本を通じ土木を楽しめる『遊びのひろば』など、未就学生から、小・中高生から、高齢者まで、それぞれの立場に応じ楽しめる場をつくり上げています。



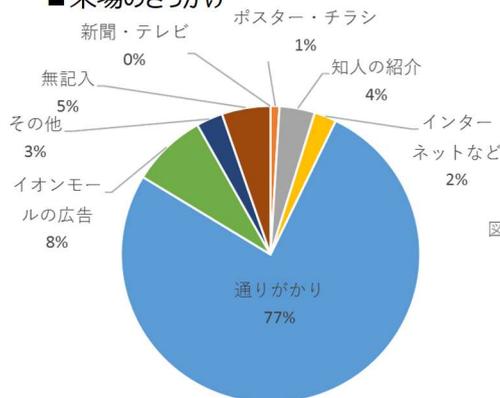
会場配置図

来場者へのアンケート調査結果

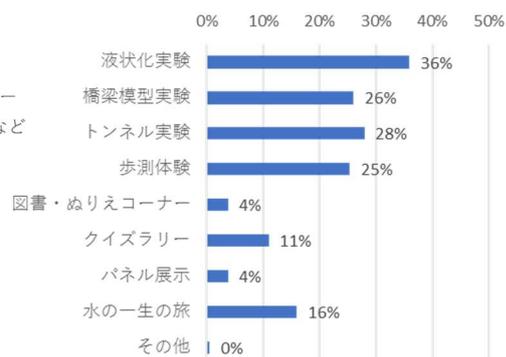
■来場者（426人）



■来場のきっかけ



■おもしろかったコーナー（複数回答）



■自由意見（一例）

- ◇ 普段あまり接することのない分野でしたが、子どもと共にコーナーをまわって興味を持ち勉強になりました。帰ってからも、今日の体験を通して土木を身近に会話に取り入れることができそうです。
- ◇ 実験があり、子供も学べてよかったです。また体験コーナー付きでイベントをしてほしいです。
- ◇ 日ごろは意識しないものだけど、安全な生活にかかわるものなんだなと感じました。
- ◇ いつも何気なく通っている道が、沢山の人の考えや技術によって作られているのに感動しました。
- ◇ 親切に接して頂きありがとうございました。非常によかったです。
- ◇ あたらしいことが分かって、おぼえてみようと思います。
- ◇ ぜんぶおもしろかった。色んな体験があって、すごくおもしろかったです。



～ 委員会スタッフ ～

コンサルタント委員会市民交流研究小委員会：黒川信子(日本工営(株))／川上佐知(復建調査設計(株))／清水陽子(秋田県)／荻原春視((独)都市再生機構)／小椋麗華・木藤裕子((株)アイ・エス・エス創研)／加藤楓(前田建設(株))／加藤ひろみ・柊木洋子・長塚麻子((株)エイト日本技術開発)／神原由紀(大日本コンサルタント(株))／斎藤春佳(株)アンジェロセック)／志小田可奈子((株)ドーコン)／白木綾美(清水建設(株))／瀬尾弘美・溝田景子((株)建設技術研究所)／関直子(日本シビックコンサルタント(株))／高橋葵和子((株)ピー・アイ・ティー)／田中晶子(国立環境研究所)／中村恭子((株)グレイス)

トンネル工学委員会：江口泰教・宮城大助(中央復建コンサルタンツ(株))

～ サポートスタッフ ～

松本享之・朴英・鏝敬介・工土くるみ・松岡裕哉・吉田恭佑・絹川遼・藤原望・一色勇志・岡村麻矢・相原慶輔・水谷知世・木藤賢一((株)建設技術研究所)